

開講大学	科目名	担当者	開講時期	履修形態	授業形態	単位数
連携	市川学A	オムニバス	前期・春学期	選択	講義	2
<b>【授業のねらい】</b> 大学コンソーシアム市川に参加する5大学の共同開発による授業。市川の歴史や文化について学ぶ。市川市域は古くから人々が住みつき、特色ある文化を醸成してきた。それらについて理解し、「地域つながり力」を持つための方法を学ぶ。市川市の理解を深めるためには、市川学A～Dを全て履修することが望ましい。						
<b>【学修成果(達成目標)及び成績評価の方法】</b> <b>学修成果(達成目標)；</b> 課題をまとめ、自らの考えを述べられる。 自らの置かれた地域社会についてさまざまなことを知る。 <b>成績評価の方法；</b> レポート80% 学習内容を的確にまとめ、論理的に自分の考察を述べているか。 受講態度20% 各講座の課題を期限内に提出する。						
<b>【教科書・参考書】</b> 教科書： なし 参考書： 市川市教育委員会編『図説市川の歴史』						
<b>【その他】</b> 授業の会場が常に変わるので、学内掲示等で確認しておくこと。						
[授業の内容・スケジュール]			[準備学習の内容]			
1	先史時代の市川～貝塚と縄文時代の暮らし～ 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 市川市内の3つの国指定史跡の貝塚について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
2	下総国府と国分寺 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 下総国府・国分寺・国分尼寺について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
3	信仰の場としての市川 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 中山法華経寺・弘法寺について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
4	近世の市川～行徳を中心に～ 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 行徳の歴史について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
5	近代以降の発展 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 市川市域の拡大について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
6	日本文学と市川1～真間手児奈伝承～ 和洋女子大学助教 大塚千紗子		事前学習： 真間手児奈伝承について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
7	日本文学と市川2～『古事記』・『日本書紀』から～ 和洋女子大学助教 大塚千紗子		事前学習： 『古事記』と『日本書紀』について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
8	市川の民俗1～市川の伝承とパワースポット～ 和洋女子大学准教授 加藤紫識		事前学習： 市川市域の「不思議な話」について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
9	市川の民俗2～マチとイチ～ 和洋女子大学准教授 加藤紫識		事前学習： 市川市域の「マチ」について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
10	市川の民俗3～市川の民間信仰～ 和洋女子大学准教授 加藤紫識		事前学習： 市川市域の「民間信仰」について調べる 事後学習： 所定のワークシートに学習結果をまとめる			
11	現地踏査～市川考古博物館～ 当該館学芸員、千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
12	現地踏査～市川歴史博物館～ 当該館学芸員、千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
13	現地踏査～中山法華経寺とその周辺～ 千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
14	現地踏査～市川文学ミュージアム～ 当該館学芸員、千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			
15	現地踏査～行徳ふれあい伝承館～ 当該館職員、千葉商科大学政策情報学部教授 朽木 量		事前学習： 現地踏査するすべての施設について下調べをする 事後学習： 現地踏査の結果をレポートにまとめる			